

# 平成 29 年度事業報告書

**公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業**

## 1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

### (1) あかね荘事業

#### ① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。

実績 : 延 89 人 (実数 4 人) の方が利用

#### ② 自立訓練 (生活訓練) 事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ 8,111 人 (実数 52 人)、宿泊での延べ利用者 10,666 人 (実数 52 人) 方が利用し、うち 15 人が地域で自立した生活を送っています。

#### ③ 相談支援事業

一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方 (障がい者、家族等) からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ 1093 人の方が利用

### (2) あかねワークセンター事業

#### ① 就労継続支援 (B型) 事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ 5,643 人 (実数 32 人) の方が利用

#### ② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対するの偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しました。

実績 : 利用者数 8,655 人 43 団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,745 人（実数 11 人）、の方が利用し、うち 4 人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 平成 29 年度相談対応件数 1,447 件

精神科救急情報センター相談員研修実施

平成 29 年 8 月 31 日（木）

場所 熊本市役所本庁舎 14 階大ホール 参加人数 79 名

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけではなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績 : 29 年度救急患者数 878 件（助言指導 357 件、外来受診 293 件、入院 186 件、その他 42 件）

その他事業1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業

1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

(1) 院長会 年6回開催（5/25,7/20,9/20,11/16,1/17,3/15）

: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見集約を行いました。

(2) 学術研修小委員会 学術講演会を年6回開催

: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。また独自に10/31に医療計画関連で学術特別講演会を開催しました。

(3) 看護部小委員会 研修会を年3回開催（5/23,9/5,11/7）

: 看護部小委員会は、研修会の企画・運営と関係機関への協力を行いました。研修会は3回実施しました。九精協の看護部長会議や熊本県精神科救急情報センター相談員研修会への役員派遣を行いました。また協力事業として「心の健康フェスタ」へ参加協力しました。

(4) 栄養部小委員会 研修会を年2回開催（7/6、2/22）

: 会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会を行いました。また、非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。

(5) コメディカル部小委員会 研修会を年2回開催（7/5、11/29）

: コ・メディカル部会に登録頂いている、各医療機関のコ・メディカルスタッフ向けに年に2回、研修会を企画し開催しました。協力事業として、「心の健康フェスタ」での相談コーナーなどに部会委員を派遣致しました。

(6) 薬剤部小委員会 研修会を年2回開催（9/9、3/10）

: 会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会を実施しました。

(7) 事務長会 研修会を年3回（6/14,11/24,3/27）

: 会員医療機関に勤務する事務長等を対象に医療経営管理等について研修会を実施しました。

(8) その他各種委員会

: 熊本県・熊本市等の開催する検討会への委員派遣、内容検討についての意見具申等を通じて当協会の精神保健医療福祉に関する考え方の実現を図りました。

## 2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。協会誌のホームページ掲載化も行いました。

協会誌編集委員会 4回実施（6/7、9/6、12/6、3/7）

熊本地震の記録誌「熊本地震の記録 熊本地震と精神科医療」を発行（発行部数1000部）し会員及び関係機関に配布しました。

## 3 精神障害者リハビリ事業

### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）実施しました。

・平成29年6月8日 パークドームにて開催 参加者1,381名

### (2) 作品展示への事業協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

・「第55回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力

平成29年10月20日 やっしろハーモニーホール

・「第25回精神障害者作品展示会」における作品展示に協力

平成29年9月10日 下通りアーケード

その他事業2	: 県・市からの委託事業
--------	--------------

## 1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県下5件（内熊本市3件）

## 2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会開催事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域体制整備アドバイザーによる退院に向けた個別支援を提供する事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るため、研修会を行いました。

実績 ・地域体制整備アドバイザー配置事業

熊本市関係 3名配置

・退院支援生活環境相談員等研修会を実施

平成29年12月5日（火）

場所 ウエルパル熊本1階 大会議室 参加人数 148名

### 3. 熊本こころケアセンター事業

事業目的 : 熊本地震による被災者の心の問題に対応するため、次の活動を行い被災地域の精神保健福祉機能を向上させ、被災者の健康的な生活の実現を図る。

- 活動内容
- (1) 被災者への相談支援等
    - ・ 電話や来所による相談、仮設住宅入居者等への訪問支援
    - ・ 仮設住宅における相談会等の開催
  - (2) 人材育成
    - ・ 市町村保健師、学校関係者、保育士など被災者の心のケアに携わる地域の支援者やボランティア等に対する研修の実施
    - ・ 被災市町村の一般住民を対象とした災害時心のケア研修会の開催
  - (3) 支援者の支援
    - ・ 被災者の心のケアに従事する市町村職員等への技術的助言
    - ・ 被災者の心のケアに従事する市町村職員等のメンタルヘルスケア
  - (4) 医療と保健のネットワーク形成等
    - ・ こころのケアセンター運営委員会の開催
    - ・ 関係団体との連携・協働の調整
    - ・ 被災市町村におけるデータの収集整理、分析、検討等
  - (5) 普及啓発
    - ・ 一般県民、被災者、支援者向けのメンタルヘルスケアに関する情報の発信、啓発パンフレットの作成、講演会等の開催

実績

#### (1) 被災者への相談支援

電話相談	524 件
来所相談	113 件
訪問相談	395 件
相談会等での相談	155 件
【 計	1,045 件 】

#### (2) 人材育成

研修会の開催	24 回	受講者 1,368 人
研修会への講師派遣	48 回	受講者 2,570 人
【 計	72 回	受講者 3,938 人 】

#### (3) 支援者の支援

支援に関する相談対応	363 件
ケース会議出席	307 件
【 計	670 件 】

#### (4) 医療と保健のネットワーク形成等

市町村等との協議	141 件
関係機関主催会議への出席	58 件

#### (5) 普及啓発

一般向け講演会等	14 件	受講者 504 人
情報発信	63 件	
啓発冊子配布部数	49,208 部	

1 循環型認知症医療体制検討事業（基金事業）

事業内容 (1) 認知症サポート医の養成支援

①認知症サポート医空白地域解消事業

認知症サポート医が不在である県内 16 町村において、認知症サポート医養成研修受講を働きかけ、その受講を支援した。

②認知症サポート医活動体制検討事業

熊本県内の認知症サポート医を対象としてアンケート調査を実施し、その活動状況や課題等について整理した。

(2) 精神科病院による認知症サポート医等の活動支援

県内 4 モデル圏域の支援精神科病院（認知症 BPSD センター）および熊本県精神科協会内 BPSD コールセンターにおいて、認知症サポート医等からの相談の受付を行い、県内 4 圏域の精神科病院への連絡・調整を行った。

実施圏域	認知症 BPSD センター
菊池圏域	中山記念病院
阿蘇圏域（西原村・南阿蘇村） ※一部熊本市東部地区を含む	くまもと悠心病院
上益城圏域	希望ヶ丘病院
八代圏域	八代更生病院

\*熊精協事務局内：BPSD コールセンター

(3) 圏域関係機関連携事業

①認知症サポート医連絡会議の開催

県内 3 モデル圏域の認知症サポート医その他関係者により、圏域内での循環型認知症医療体制構築における課題を検討し、連携を強化することを目的に連絡会議を開催した。

②認知症 BPSD センターの認知症サポート医による講義・助言の実施

県内 4 モデル圏域の支援精神科病院が、圏域の認知症サポート医その他の関係者に対して、認知症に関する講義等を行った。

実績 (1) 認知症サポート医の養成支援

①認知症サポート医空白地域解消事業

支援地域（8 町）

和水町、南関町、南小国町、小国町、嘉島町、氷川町、津奈木町、多良木町の 8 町において認知症サポート医の不在が解消された。

②認知症サポート医活動体制検討事業

アンケート調査概要

- ・調査対象 158名
- ・調査期間 平成29年10月27日～11月10日
- ・回収状況 回収票106票（回収率67.1%）

(2) 精神科病院による認知症サポート医等の活動支援

相談受付件数： 747件

(3) 圏域関係機関連携事業

①認知症サポート医連絡会議の開催

・菊池圏域

第1回 平成29年9月29日・第2回 平成30年2月27日

・上益城圏域

第1回 平成29年5月27日・第2回 平成29年2月28日

・八代圏域

第1回 平成29年10月3日・第2回 平成30年2月20日

②認知症 BPSD センターの認知症サポート医による講義・助言の実施

対象：圏域内の認知症サポート医、介護・医療関係者、行政機関等

・菊池圏域

平成30年3月20日 参加者数 25名

・阿蘇圏域

平成29年11月14日 参加者数 23名

平成29年11月28日 参加者数 19名

平成30年1月30日 参加者数 25名

・上益城圏域

平成29年5月27日 参加者数 約40名

平成29年9月25日 参加者数 約40名

平成29年11月17日 参加者数 約50名

平成30年2月28日 参加者数 23名

・八代圏域

平成29年10月3日 参加者数 55名

平成29年11月2日 参加者数 9名

平成30年1月24日 参加者数 8名

平成30年2月20日 参加者数 35名

## 1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
  - ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
  - ・第 55 回熊本県精神保健福祉大会開催（10/20）協力支援
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業
  - ・精神保健福祉センター主催の研修会等への協力支援

## 2 共催・後援

- ・熊本 DSS フォーラムの名義後援（29/5/31）
- ・第 17 回全国障害者スポーツ大会愛顔つなぐえひめ大会の名義後援
- ・震災とこころのケア講演会の共催について（29/7/14）
- ・平成 29 年度職場のメンタルヘルス研修会の後援
- ・心の健康フェスタ 第 25 回精神障がい者作品展示事業の共催
- ・第 55 回熊本県精神保健福祉大会の後援
- ・第 19 回熊本 AAP 研究会の後援（29/9/7）
- ・認知症市民フォーラム in うき 2017 後援
- ・第 16 回熊本アディクションフォーラム開催に伴う後援
- ・平成 29 年度地域精神障がい者スポレク大会（第 24 回ふれあいピック）の後援
- ・熊本県弁護士会の自殺対策シンポジウムの名義後援
- ・「第 2 回熊本地震こころのケアフォーラム」の後援
- ・第 3 階日本ソーシャルフットボール全国大会九州予選の名義後援
- ・アルコール健康障害対策・一般市民公開セミナーの名義後援

## 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- |            |                            |
|------------|----------------------------|
| （審査会等への出席） | 熊本県精神医療審査会など               |
| （会議等への出席）  | 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など    |
| （研修等への協力）  | 熊本県介護支援専門員更新研修への講師派遣       |
| （医師等の推薦）   | 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医等の推薦 |
| （その他）      | くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業     |

#### 4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協
- (2) 日精協 熊本県支部

#### 5 その他

- (1) 会員の入会・退会について  
入会：ソラククリニック 院長 小山一静 (29/6/1)  
退会：なし
- (2) 要望等について 特になし
- (3) 報告事項 特になし

#### 1 学術講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	これからの抗うつ薬選択～エビデンスを活かした実臨床的対応を検討する～	医療法人清陵会南ヶ丘病院 診療部長 竹内裕二先生	H29年7月20日
2	精神科救急・急性期の薬物療法～急性期薬物治療におけるアリピプラゾールの有用性～	社会医療法人北斗会 さわ病院 理事長 澤 温先生	H29年9月20日
3	医療計画の作り方	国立精神神経医療研究センター 一精神保健研究所 指針保険計画研究部長 山之内 芳雄先生	H29年10月31日
4	アセナピンの当院での使用経験とそのポジショニング	医療法人静心会桶狭間病院 藤田こころのケアセンター 理事長 藤田 潔	H29年11月16日
5	精神科病院外来での抑うつ・不安の治療  レビー小体型認知症の精神症状に迫る	社会医療法人ましき会 益城病院 副院長 渡邊 信夫先生  熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 教授 池田 学 先生	H30年1月17日
6	統合失調症における適切な診たてと合理的な薬物選択	社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル 佐藤 創一郎先生	H30年3月15日

## 2 研修会

### (1) 看護部小委員会研修会（第73回・第74回）

	開催日	会場	内容
1	H29年5月23日 第73回研修会	グランメッセ 熊本 大会議室	講演「市長・主任に必要なリーダーシップ」 講師 NPO 法人日本看護キャリア開発センター代表 下山 節子先生
2	H29年9月5日	火の国ハイツ	講演「精神科で働くということ」 講師 阿蘇やまなみ病院 理事長 高森 薫生先生
3	H29年11月7日 第74回研修会	熊本市食品交流会館	講演「地域移行について」 講師「すまいる」施設長多賀浩一氏 「ふれあい」センター長今野えりこ氏 熊本県「あかね荘」サービス管理者 中野誠也氏 桜が丘病院リハ課長 大寫高昭氏

### (2) 栄養部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H29年7月6日	ANA クラウン プラザ熊本ニュー ースカイ	講義「日常業務で困っていること」 講師：ANA クラウンプラザ熊本ニュー ースカイ調理長 戸澤 清水先生
2	H30年2月22日	㈱ハウディ第一 別館	講演①「摂食障害の治療～医師の立 場から～」 講師：向陽台病院 副院長 中島 央 先生 講演②「摂食障害の治療～臨床心理 士の立場から～」 講師：向陽台病院 臨床心理士 植村 照子 先生

### (3) コ・メディカル部小委員会研修会（第52回・第53回）

	開催日	会場	内容
1	H29年7月5日 第52回	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「成人の発達障害の患者さんへの アプローチについて」 講師：池上第二クリニック 院長 池上 研 先生
2	H29年11月29日 第53回	熊本テルサ	講演「発達障がいの人への支援の実際 ①病院との連携②就労③困難事例 支援センター「わっふる」 社会福祉士 木佐貫 奈々氏

(4) 薬剤師部小委員会研修会 (第30回 第31回)

	開催日	会場	内容
1	H29年9月9日 第30回	富田薬品(株) 熊本本社	<p>会員発表</p> <p>○「抗精神病薬のリスクマネージメント：LAIを含めて」 八代更生病院薬剤科 根岸大喜先生</p> <p>○「向精神薬（睡眠薬、抗不安薬）のリスクマネージメント」 菊陽病院 薬剤科 井上 裕子先生</p> <p>○「血漿コリンエステラーゼ値を用いたリバスチグミンの安全性に関する検討」 くまもと青明病院 薬剤科 村田 司 先生学術講演 「インチュニブについて」 明生病院薬剤科 宮崎 賢三先生</p>
2	H30年3月10日	富田薬品(株) 熊本本社	<p>会員発表</p> <p>○「ラモトリギンの安全な使い方」 くまもと青明病院 薬剤科 村田 司 先生</p> <p>○「八代更生病院におけるイーケプラの使用状況」 八代更生病院 薬剤科 根岸大喜先生 学術講演 「新規抗てんかん薬を含めたてんかんの薬物治療について」 くまもと江津湖医療養育センター 石津 棟暎先生</p>

(5) 事務長会研修会・(8/30診療・介護報酬委員会含む)

	開催日	会場	内容
1	H29年6月14日	熊本テルサ	<p>講演「熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉部障がい者支援課より」 講師：熊本県・熊本市担当</p>
2	H29年11月24日	ホテル日航熊本	<p>講演「精神科医療のこれからを考える」 講師 東京医科歯科大学大学院 医療経済学分野 教授 川淵 孝一 先生</p>
3	H30年3月27日	熊本市民会館 大会議室	<p>日精協診療報酬改定伝達講習会 講師 弓削病院事務次長 松浦弘樹氏</p>